

256th IBB Seminar

核内受容体に結合するペプチド に関する研究

講師：大橋 南美 講師

昭和薬科大学

医薬分子化学研究室

日時：2023年9月16日(土)16:30~17:30

会場：東京医科歯科大学 生体材料工学研究所

第二会議室 22号館 (1階)



Abstract: 核内受容体はリガンド依存的に遺伝子転写を制御するタンパク質である。不活性型受容体はコリプレッサー、活性型受容体はコアクチベーターと呼ばれる転写共役因子とそれぞれ複合体を形成する。これらの転写共役因子（コファクター）の核内受容体相互作用部位に由来するペプチドは、核内受容体の X 線結晶構造解析や阻害剤開発などに用いられている。核内受容体の一種であるビタミン D 受容体に関しては 15 種のコファクターペプチドの存在が報告されている。本セミナーでは、ビタミン D 受容体とコファクターペプチドの相互作用ならびに複合体構造に関する網羅的な解析研究、および、コファクターペプチドの細胞内・核内輸送に関する研究について紹介する。

お問い合わせ：生体材料工学研究所

メディシナルケミストリー分野

亀井(内線 8036)、玉村